

# 第二十回 ほのぼのまつり

ご協力ありがとうございました。

今年も、6月3日(日)にほのぼのまつりを無事に開催する事ができました。当日はお天気にも恵まれ、たくさんの方にご来場いただくことができました。



ステージでは、初登場の『Pee Ka Boo』さんをはじめとして、大勢の出演者の方々に盛り上げて頂き、ステージ前にはいつも人だかりができていました。また仲間たちもこれまでの練習の成果を存分に発揮して、大いにステージを盛り上げてくれました。

バザー会場では、今年は初めて作業所の南側の土地を使って3品100円コーナーや古本を販売しましたが、予想以上の大盛況でたくさんのお客さんで賑わっていました。



きそがわ福祉社会の各作業所の仲間のお店でも、仲間たちが精一杯に声を張り上げて自分たちの作った商品を販売していました。各施設ともますますの売り上げだったそうですよ。

食べ物コーナーは今年も好調で、焼きそばや、ねぎ焼き、雑穀いなりなどは、かなり早い段階で、完売してしまったそうです。他にも毎年好評のCoCo 香番屋さんのカレーライスも午前中には完売しました。

屋内では、毎年恒例の似顔絵コーナー、缶バッジコーナーの他に、久しぶりに段ボール工作の村田さんが登場してくださり、どのコーナーも人が絶えることがありませんでした。

今年もほのぼのまつりでは、東日本大震災の支援を行いました。屋内では、震災支援コーナーを設け、きそがわ福祉社会の支援活動を紹介する展示と、東北地方の作業所の製品を販売する即売会を開催しました。また、要員全員で震災支援缶バッジをつけ、支援の気持ちを全力でアピールしました。



今年も藤田う月様には切り花を寄付して頂きました。ありがとうございました。またCoCo 香番屋さんには、売り上げの全額を寄付して頂き、他にも、たくさんの方から様々な御協力を頂きました。本当にありがとうございました。

単位：円

|              |         |
|--------------|---------|
| 日用品          | 189,860 |
| 食べ物          | 111,513 |
| 衣類           | 79,400  |
| 3品100円       | 40,960  |
| 水風船          | 28,700  |
| 花            | 20,603  |
| 古本           | 8,920   |
| CoCo 香番屋さんより | 82,500  |
| 計            | 562,456 |

※東日本大震災支援物資売上 51,070

# きそがわ福祉社会だより

地域の中で

2012年8月15日発行 No.81

ともに育つ施設めぐりして



素敵な笑顔がいっぱい！一泊旅行満喫中ですー！！  
第二きそがわ作業所

## 発行：社会福祉法人きそがわ福祉社会

- ★ 法人本部 〒493-0007 愛知県一宮市木曾川町外割田字西郷西151番地  
TEL 0586(86)3960 FAX 0586(86)3937
- ★ 障害福祉サービス事業(きそがわ作業所) <生活介護・就労継続支援B型>
- ★ 障害福祉サービス事業<生活介護>・障害児通所支援事業<児童発達支援事業>(ゆうゆう)
- ★ 日中一時支援事業(きそがわ作業所)  
TEL 0586(86)3763・3905 FAX 0586(87)7194
- ★ 相談支援事業(相談支援センター夢うさぎ) TEL 0586(86)4003 FAX 0586(87)7195
- ★ 障害福祉サービス事業(黒田ドリーム作業所) <生活介護・就労継続支援B型・就労移行支援>  
〒439-0001 愛知県一宮市木曾川町内割田一の通り12-1  
TEL 0586(86)3111 FAX 0586(86)1161  
(cafe KURODA)  
〒493-0001 愛知県一宮市木曾川町黒田字中野黒120 TEL・FAX 0586(87)1932
- ★ 障害福祉サービス事業(第二きそがわ作業所) <生活介護・就労継続支援B型>  
〒493-0004 愛知県一宮市木曾川町玉ノ井字大縄場三ノ切65  
TEL 0586(84)1102 FAX 0586(84)1080
- ★ 障害福祉サービス事業(フラワー玉の井) <居宅介護・重度訪問介護・行動援護・同行援護>
- ★ 移動支援事業(フラワー玉の井)  
〒493-0004 愛知県一宮市木曾川町玉ノ井字大縄場三ノ切21-1  
TEL・FAX 0586(86)7541
- ★ 障害福祉サービス事業(ケアホームきそがわ) <ケアホーム> <短期入所>  
〒493-0004 愛知県一宮市木曾川町玉ノ井字大縄場三ノ切21-1(玉の井第一ホーム・玉の井第二ホーム) TEL・FAX 0586(86)7541  
〒493-0001 愛知県一宮市木曾川町黒田字北宿一ノ切117(北宿ホーム) TEL・FAX 0586(87)8680
- ★ 障害福祉サービス事業(ぬくもりホームきそがわ) <ケアホーム> <短期入所>  
〒493-0001 愛知県一宮市木曾川町黒田字七ノ通47-2(ぬくもりホーム) TEL・FAX 0586(86)1630  
〒493-8001 愛知県一宮市北方町北方字東本郷20-1(第一北方ホーム) TEL・FAX 0586(86)0737  
〒493-8001 愛知県一宮市北方町北方字東本郷下155(第二北方ホーム) TEL・FAX 0586(87)2773  
〒493-8001 愛知県一宮市北方町北方字東本郷下155-1(第三北方ホーム) TEL・FAX 0586(86)1716





cafe KURODAの

# 夏の新品



cafe・KURODAの新作のお菓子が続々と増えております。今回の新作はフィナンシェとスティックパイになります。こちらのお菓子も一宮特産の浮野の卵をふんだんに使用しております。近日中には焼きドーナツも完成し販売する予定です。

また、喫茶では夏のメニューとしてかき氷を販売しております。一番の目玉商品は西尾の抹茶を使用した抹茶かき氷です。その他もいちご、みぞれ、メロンといった定番メニューも取り揃えておりますので、この夏には是非いかがでしょうか。



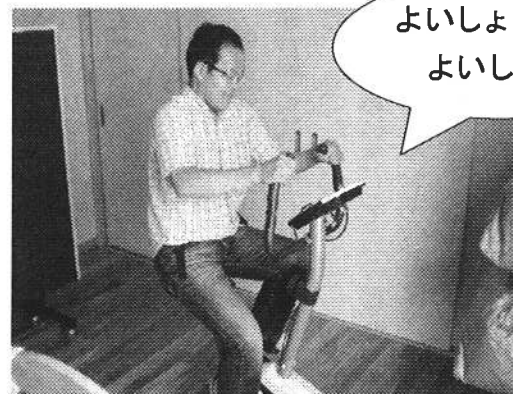
えい!



やー!



なに聞こっかな～♪



よいしょ、よいしょ……

## 仲間の様子PART2

前回号は、作業についての紹介でしたので今回は仲間たちの余暇についての紹介をします。時間は午前10分、お昼休憩の1時間、午後からの15分と短いです。皆、休憩を心待ちにしています。各々トイレを済ませ、さっさと席に戻る人、仮眠をとる人、仲間や職員と話をする人とそれぞれです。風には、歯磨きする人、ラジオを聞く人、多目的室に置いてあるサイクリングマシンで運動する人、卓球を楽しむ人もいます。どの人もマイペースにしたいことをしているのですが、仲間どうし声をかけたり注意し合ったり時間を守っている所は、なんだか感心してしまいます。ともあれ、仲間の会話や行動はとても楽しくて見ているこちらまでほんわりとした気持ちになります。

# 障害者 総合支援法成立

国約の基本合意と55人の英知の結晶の総合福祉部会提言 反故

## 意見

今年3月には愛知県議会から国に対して「(抜粋)国の新法案は、障害者自立支援法の一部見直しにとどまっているので、総合福祉部会の提言を最大限尊重し、反映させた障害福祉サービスの充実を」との意見書が提出されました。(全国で217自治体が国に意見書提出…7月現在)

## 可決

6月20日に参議院本会議で障害者総合支援法が可決・成立しました。

## 違憲

同日、障害者自立支援法違憲訴訟団・弁護団・基本合意の完全実施をめざす会は抗議声明を発表しました。



去る6月20日、第180回国会で障害者自立支援法の一部改正法である「障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律」(総合支援法)が成立しました。衆議院、参議院いずれにおいても異例のスピード審議で可決となりました。

違憲訴訟との関連で振り返りますと、以下のような経過がありました。

- ◇平成18年に障害者自立支援法施行
- ◇平成20年、21年に障害者自立支援法違憲訴訟原告団・弁護団が、障害者自立支援法の廃止と新法制定を求めて訴訟を提起(全国で71名の原告)
- ◇平成21年10月 政府から、障害者自立支援法の廃止を前提とした裁判の話し合い解決の呼びかけ
- ◇平成22年1月 国と原告の間で「基本合意文書」の調印に基づき、障がい者制度改革推進会議発足
- ◇平成22年4月 総合福祉部会が開始(基本合意文書を基本とした議論が進められる事を確認)
- ◇平成22年6月 政府が障害者自立支援法の廃止を閣議決定
- ◇平成23年8月 障害種別等を乗り越えた55名の委員が一致した提言として、総合福祉部会より障害者自立支援法を廃止した後の新法の骨格提言が提案される(基本合意文書や障害者権利条約に依拠して作成され、新法への期待が高まる)

## しかし

- ◇平成24年2月 厚労省からは、廃止すべき障害者自立支援法がそのまま定着…と言ってもよい法案を提案
- ◇平成24年6月 微修正を経て、骨格提言や基本合意文書からはほど遠い、障害者総合支援法が成立

## 「東日本大震災」被災地視察研修に行ってきました。

去る6月14日、15日にきょうされん東海ブロックが主催した、被災地視察研修に参加してきました。

朝6時25分に名古屋駅に集合し、新幹線で岩手の一ノ関駅まで、そこからバスに揺られて、12時過ぎに宮城県の気仙沼市に入りました。その後南三陸町まで南下し、被災した施設や、仮設住宅などを視察、関係者の方々との懇談をし、翌15日の3時ごろ現地を出發。名古屋着が10時半で、その間の行程の殆どが移動時間という強行日程でしたが、懐かしい人達にも会え、貴重な体験になりました。

報道等ではあまり触れられる事が無くなってしまっていますが、まだまだ被災地の方々は大きな思いをして日々暮らしています。ガレキの処理がようやく進んできているくらいで、まだまだ「被災地」のままなのが現状です。遠く離れた場所にいる私達も震災を風化させず、できる限りの支援を続けていかなければ…と感じました。(杉江)